

社会科学習指導案

単元名：

「天皇中心の国づくり」

(全○時間扱い中 第○時)

授業日時 令和3年11月5日(金)第3校時

授業学級 6年1組

授業会場 6年1組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

大仏づくりは本当に必要だったのか疑問を持った子どもたちが、
大仏づくりの様子を調べる活動を通して、
当時の人々の思いに気づき、
大仏づくりに対する考えを深めることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 前回の授業のみんなの感想や意見を 知る。	・大仏はいらないよ。 ・僕もそう思うよ。 ・だってお金とかすごいかかったから。	・児童の前回の感想を紹介する。 ※スライドを提示。	3 分
	【学習問題】大仏づくりの様子について考えよう。			
		・仏教を信じてたから大仏つくった んでしょ。		
	【学習課題】自分なら、大仏づくりに参加するかどうか考えよう。			

展開	2. 自分だったら大仏づくりに参加するかどうか考える。	・私は参加しない。 ・危なそうだから嫌だな。 ・お金もらえるならやってもいいかも。 ・みんなで力合わせてやればいい。 ・僕は参加しないな。 ・死にたくない。 ・焼け死にそう。	・みんなは大仏づくりに参加するかどうか、問いかける。 ※板書する。 ※大仏の写真を黒板に貼る。 ・友達と話し合ったり、調べたりして考えを深めてもらう。 ※机間指導を行う。	20分
	3. 意見を共有する。	・労力がかかる。 ・お金がかかる。 ・時間がかかる。 ・自分たちの力ではどうにもならないから、大仏に頼った。 ・へー、そのポーズ意味あったんだ。 ・うーん、運動会！ ・つい最近じゃん。 ・こんな風につくられてたんだ。 ・やっぱ危なそう。	・どんな意見があるか、子どもに問う。 ※子どもたちの意見を板書する。 ・「参加する」側の意見の時に、大仏様の意味を示す。 ・「みんなでつくることに意味がある」については、聖武天皇の出した詔についても触れる。 ・みんなで一つのことを成し遂げた経験はないか、自分の経験を踏まえて、みんなに聞く。 ※意見が出なければ、こちらから組体操の写真を提示する。 ・「参加しない」側の意見の時に、大仏づくりの様子を示した動画を見せ、確かに大変だったことを示す。	20分
終末	4. 本時を通して考えたことを書く。	・やっぱり大仏づくりは良かったのかもしれない。 ・人と人が協力し合って何かを成し遂げるのは大切なこと。	・本時の振り返りや気になったこと、授業でみんなの意見を聞いたことや調べてみたことを通して、自分の意見はどうかについて社会のノートに書いてもらう。	2分
【評価（対象）】大仏づくりに対する考えを深めることができたか。（社会日記）				